

風水害に備えよう

今年も集中豪雨や台風などによる風水害の多い季節が近づいてきました。

梅雨の時期は、梅雨前線による大雨や長雨などにより、河川のはらんや土砂災害が発生しやすくなります。中でも短時間に狭い地域に集中して降る「集中豪雨」には注意が必要です。集中豪雨は突発的に降るので予測が難しく、ときに大きな被害をもたらすことがあります。

そのような風水害に対して日頃から備えておくことや、被害を未然に防ぐ知識などを紹介します。

少しでも危険を感じたら自主的に避難しましょう。

【知る】

●地域の状況を知る

お住まいの地域で過去に起こった災害などを知っておくことが大事です。自主防災組織などで危険な場所、避難場所、避難経路など

を確認・点検し、落ち合う場所を決めておきましょう。

●気象情報など情報の入手

台風の接近時や雨が降り続いたりしたときなどは、テレビやラジオで気象情報を収集し、十分注意しましょう。(雨量などについては左図をご覧ください。)

【備える】

●非常持ち出し品の確認

- 飲料水や食料
- 避難のために必要なもの(懐中電灯、ラジオ、衣類など)
- 個人ごとの必需品(持病の薬、生活用品など)

●住まいの点検

- 瓦やアンテナは固定されているか。
- 雨どいが詰まってないか。
- 外壁に亀裂はないか。
- 窓ガラスにひび割れ、がたつき

はないか。

【行動する】

●風水害時の避難の注意点

- 動きやすく安全な服装とし、足元は運動靴にする。
- 道路などが浸水すると側溝などが確認できないので、杖を持って足元を確認しながら歩く。
- 単独では行動せず、家族や近所の人と行動する。
- 避難勧告などが出ていなくても危険を感じたらすぐ避難する。

避難の呼びかけを待って行動するのではなく、危険を早めに察知し、正しい情報に基づき早めの対応を心がけましょう。家族や地域で協力し合い、対応することが被害の抑制につながります。

雨量と水害

1時間に20ミリ以上の雨が降ると、地割れや地表が流されたり、ガケ崩れの危険が予想されます。



1時間雨量
5~15ミリ

- 地面に水たまりができ、雨の降る音が聞こえる。



1時間雨量
15~20ミリ

- 地面一面に水たまりができ、雨の音で話が聞きとれない。



1時間雨量
20~30ミリ

- いわゆる土砂降り状態で下水があふれる。



1時間雨量
30ミリ以上

- バケツをひっくり返したような雨が降る。

自衛官・予備自衛官補 募集案内

自衛隊には、一般的な自衛官・幹部自衛官・予備自衛官補の他に、パイロット・医師・看護師になるための学生など18~54歳までの各種募集種目があります。

また、約100種類の仕事があり、やりたい仕事もきっと見つかると思います!

「こんな仕事、自衛隊にありますか?」とお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】防衛省・自衛隊 高知地方協力本部
四万十地域事務所 ☎35-3096



住宅の耐震化は お済みですか？

黒潮町では、南海トラフ巨大地震による犠牲者を無くすため、木造住宅の耐震化を進めています。

今年度から、町が補助する金額をかさ上げし、申請者の自己負担が以前より少なくなりました。

地震の揺れで家屋が倒壊すると避難ができなくなります。お住まいの耐震診断・改修をご検討いただき、南海トラフ地震に備えましょう。

他にも、危険なブロック塀などを撤去したり、安全な塀への改修を行う所有者に対し、費用の一部を補助する事業もあります。

それぞれの申し込みには、申請書と必要書類の提出が必要です。

詳しくは、左記までご相談ください。



黒潮町の木造住宅耐震補助の流れ

まずは **耐震診断**

—お住まいを知ることから—

対 象：昭和56年5月末以前に着工した木造住宅
※構造によっては対象外となる場合があります

費 用：無料

概 要：建築士事務所協会を通じて登録診断士を派遣します



つぎに **耐震設計**

—お住まいの補強を考えましょう—

対 象：上記の耐震診断を終えたもののうち、評点1点未満のもの

補助額：最大30万円(今年度から補助額アップ)

概 要：登録設計者に耐震補強の設計をしてもらいましょう



さいごに **耐震工事**

—設計した内容で工事をする—

対 象：上記の設計を終えたもの

補助額：最大92万5千円(今年度から補助額アップ)

概 要：登録工務店、または設計登録者と連携した工務店などに工事をしてもらいましょう



○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188(課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第一係

☎55-3113(直通)